

令和6年度 第5回まちづくりふれあい懇談会記録書

1 日 時 令和6年8月8日（木）午後6時30分～8時00分（1時間30分）

2 場 所 向陽住民センター 多目的ホール

3 出席者 一般出席者 6人

網走市出席者 10人（市長、学校教育部長、企画総務部長、
市民環境部長、建設港湾部長、生活環境課長、
廃棄物処理広域化推進室参事、都市管理課長、
企画調整課長、広報広聴係長）

町連等出席者 3人（副会長、理事、社会福祉協議会課長）

報道 1人

計 20人

4 議事進行 理事

5 進行記録

18:30 開会

18:31 市長あいさつ

18:32 町連副会長あいさつ

18:34 テーマ(1)ごみの広域処理について

19:03 テーマ(2)公園敷地等を活用した雪置き場について

19:25 テーマ(3)北海道横断自動車道網走線（女満別空港～網走間）の状況について

19:37 その他

20:00 市長あいさつ

20:00 閉会

6 質疑など

【テーマ（１）ごみの広域処理について】

参加者	ごみ袋の料金はこれまでと同じですか。
市民環境部長	今後、運営費などが分かってからの検討となります。
参加者	メタンコンバインド施設はどこかで稼働実績があるのですか。
市民環境部長	道内にはありませんが、道外では４カ所稼働しています。
参加者	予算が110億円～165億円と金額の開きが大きいのはなぜでしょうか。
市民環境部長	最初の概算は、１市５町のごみの量だけで算出していただいたのと、各メーカーによって必要な敷地面積も違い、資材の高騰や、働き方改革による建設期間の延長など、そうした面を勘案しているメーカーとそうでないメーカーで幅が出ています。10月くらいまでにさらに詳細の条件を出して見積もりをとる予定です。
参加者	分別は簡素化するのでしょうか。 私たちの費用負担は減るのでしょうか。 これまで生ごみの堆肥化をやってきたが無駄だったのでしょうか。
市民環境部長	分別は減らす方向で検討しています。今の生ごみを可燃ごみに入れて、集めた後に機械で分けてメタン発酵する。分別を減らすと収集の手間や収集員も少なくて済みます。 費用についてはこれからの検討になりますが、生ごみは今まで堆肥化してきましたが、メタン発酵して発電しエネルギー化することで、費用が抑えられることになります。 全体的に分別をどうするのかは、この２年くらいかけて検討していくことになります。
参加者	生ごみは運ぶときに重いと思うが、運んだ後に分別するということで重量は重たいまま運ぶということですか。
市民環境部長	そのとおりです。
参加者	明治の処分場があと３年くらいしか持たないと聞いたと思うのですが、これが稼働するのは５年後ですね。 今年度、二軸の破碎機を導入して、より細かくして埋めることで延命化となっています。また、ごみを埋める際の覆土に影響が出ない程度に減らしています。また、調査の結果、かさ上げができることもわかりました。 最短で令和11年９月に稼働したとして、これまでの対策が全てうま

	くいけば、令和27年まで処分場はもつということに計算上はなっています。ただ本当にもつかわからないので、測量調査をしています。直近の昨年10月の調査では、あと4年3カ月と出ています。年4回、調査を実施し、大きな変化があったときにはすぐに対応できるよう、注意しているところです。
参加者	メタンコンバインド施設は、全国で4つしかなく、北海道にはないとのことで、どう評価しているのですか。
市民環境部長	メタンコンバインド施設は、焼却施設とメタン発酵施設が同じところにある施設ですが、焼却を中心とした施設です。 大きな都市だとかみの量が多いので、焼却で発電して売電できるのですが、小規模でも、高効率で発電できるようにするのが、メタンコンバインド方式です。網走の場合は小規模で、電力会社の都合で売電はできないので、自分のところでまかなうことになります。 メタン発酵施設は道内7カ所あり、生ごみを発酵するところと、し尿を発酵するところがあります。 焼却施設と、メタン発酵施設が一緒になったところが無いだけで、それぞれ単体では道内にもあり、今回高効率で焼却できる施設をということでメタンコンバインド方式で進めているところです。
参加者	今後は明治のゴミ処理場はもう使わないのでしょうか。
市民環境部長	これからの検討ですが、今までどおり明治で受け入れて、まとめて持っていくことを基本にしながら、1市5町で今後検討していきます。東藻琴で直接受け入れると、交通量も多くなりますので、東藻琴の地域のご意見も伺うことになります。
参加者	焼却してもらうのは地域的には良いと思っているのでうまくいくことを願っています。これは温暖化問題もクリアしているということですか。
市民環境部長	焼却するとごみの量は10分の1になりますし、不燃物を含めたごみ全体でも5分の1になりますので、埋め立て処分場の建設費用や、衛生面でも有効だと思います。 また、メタン発酵施設でエネルギーに変えることによって、カーボンニュートラルも実現できると考えています。
参加者	生ごみを出すときに、中身が見えないように、色の付いた袋を使って2重にするのは良いのですか。
市民環境部長	ビニールは破砕機で破ることができますので、何重にもしない限りは大丈夫です。
参加者	ゴミステーションには、分別と時間が合っていれば、区域が違ってても投げて良いのですか。

	車で来て捨てて、分別もしていなかった人に、注意した方がいたのですが、そういうときはどうしたら良いのか、後で相談がありました。車のナンバーを控えて、市役所に伝えたりできる場所はありますか。写真を撮っておく必要がありますか。
市民環境部長	住んでいる地域のゴミステーションに捨ててくださいというご案内はしていますが、そういう情報をいただければ、地域の方と相談して対策したいと思いますので、生活環境課リサイクル係へ、どこのゴミステーションか教えていただければ確認します。

【テーマ（２）公園敷地等を活用した雪置き場について】

参加者	雪置き場は昨年からありますが、みんなが使えるかは疑問です。私は公園の前に住んでいますが使わないです。雪は住宅の周りか歩道に置きます。向陽も高齢化が進んで、独り身の女性が増えていますので、この案も良い案だと思いますが、やっぱり道路の除雪方法を変えていただけないのかなと。時間が経って固くなった雪を独り身の女性が押す。千歳市の場合はそれはありえないと聞きました。道路の除雪方法は今後改善される予定はありますか。
建設港湾部長	玄関前に残された重たい雪の処理に苦慮されているという声は多くいただいています。除雪体制として担い手が非常に少なくなっており、交通の安全確保を考えると、どうしても片側に雪を寄せるかきわけ除雪になってしまいます。担い手がたくさんいれば、かき分け除雪をした後、別の重機で雪を除いていくことができますが、その担い手の確保できない状況です。 今年９月から、雪処理ができる可能性がある方へ担い手ができないかアンケートを取る予定です。 また、高齢者の間口の除雪については、別途対策をしていますが、若い女性の方だと対策できていません。非常に遠いところからの雪置き場の利用は難しいと思いますが、例えば、隣で民有地の空地があれば、活用できないか取り組みを進めていきたいと考えています。 モデル地区の駒場地区では、小さなショベルをお持ちの方が数名いらっしゃって、高齢女性がお住まいのところはショベルで公園へ運んでいる状態です。全てを市がやるのは難しいのですが、町内会の皆さんと協力し合いながら進めていきたいと考えております。
参加者	第２公園のフェンスは取り除いていただけるとのことですが、歩道が高くて、手押しの除雪車が入れなかったのも、縁石も考えてもらいたいと思います。 また、独り身の高齢者の家は旗などの目印を立てて、玄関前の雪は取り除いてもらうなど、除雪方法の検討をしてもらいたいと思います。連合町内会としても市と一緒に協議してみんなが住みやすい環境を作りたいと思っています。

建設港湾部長	縁石は歩行者の安全を守るためにあるものですので、切り下げについては、場所を確認させていただきたいと思います。 旗については、除雪のオペレーターが雪を置いていきますが、コーナーや交差点の角など、雪を置かざるを得ない場所があり、そこに置かないことが技術的にできるのか、できる限り皆さんに負担がかからないよう、道路除雪についてはオペレーター側をお願いできることはお願いしたいと思っています。
参加者	空地を利用した雪置き場はとても良いことだと思っているので、どんどん広げていただいて、私有地を借りて何か壊したとか、不都合が生じたときは、補償ができるような体制を作っていただくなど、雪対策の予算をしっかりと確保して欲しいと思っています。道路の雪もできるだけ捨てて、大事なところにお金がいくようにしてほしいと思います。
参加者	雪置き場に、市の道路除雪も捨てられるようにしていけば、もっと良くなると思います。
建設港湾部長	雪は毎年どのくらい降るか分からないので、当初予算で足りなければ、毎年補正をして十分に確保させていただいておりますが、問題になっているところは、改善したいと思っています。

【テーマ（３）北海道横断自動車道網走線（女満別空港～網走間）の状況について】

参加者	この道路にかかる費用、市からの持ち出しはどのくらいあるのですか。
建設港湾部長	女満別空港から網走までの道路は、国で、北海道開発局が、測量、用地補償、整備工事を全て行いますので、市の負担はありません。 インターチェンジにアクセスする道路は、呼人インターについては最寄りの道路を整備いただくよう北海道に要望しているところです。網走インターについては南８条通りを計画していますが、そこに接続する道路によっては市で整備することになるかもしれません。全体の整備、先ほど説明した1,050億は国で負担することになっています。

【その他】

参加者	情報提供です。 毎朝６時半くらいに、ボランティア袋を持ってごみ拾いをしてくださっている60代前くらいの方がいらっしゃいます。表彰でもしたいくらいですが。 もう一つ、市も把握しているのかもしれないが、ここ数カ月、セブンイレブンから道なりに上がっていき、雇用促進住宅の角に、ごみの入ったレジ袋が捨てられて飛散していることが毎日のように続いた。ぜひ情報を集めて、どこのどんな人がやっているのか分かったら
-----	--

	たら対応していただければと思います。
市長	私も道路脇にレジ袋がそのまま捨てられて飛散している状況を見ることがよくあります。モラルの問題だけでは済まないと感じています。今回の現場も見せてもらい、やっているのは特定の方なのか非特定の方なのかはわかりませんが、きちんと調べなくてはならないと思います。 ごみ捨ては地域の善意で成り立っていますが、良い人ばかりではないという前提で取り組まないと、一生懸命やっている方がやらなくなる大きな原因になりますので、今の話も自分ごととして受け止めていただき、どこまで対処できるか協議したいと思います。
参加者	市長は町内会にどのような認識をお持ちですか。
市長	町内会は自主組織であり、地域のコミュニティの基本であると思っています。 町内会の課題は、人が入ってこない、高齢化して解散していく、これは我が国の流れを反映していると認識しています。どう維持するのは大きな課題で、災害時にコミュニティがないと、被害者が分からないということも伺っています。 お祭りやラジオ体操、小さくてもイベントを通じて、人が集まって、顔が見えて、会話ができる環境をつくるのが、コミュニティー再生のきっかけになると感じています。 市もどう応援できるか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。
参加者	現状、早くて5年後には成り立たないと思っています。若い世代の方は、入る意味無いよねという方がほとんど。市と協議しながら、新しいやり方を考えていかなければと思っています。30代、40代の方たちをどう巻き込んでいくか。
市長	桂陽高校ボランティア部のように、人のために自分の時間と労力を使える若い世代もいます。決して若い方が関心を持っていないということではなくて、地域やコミュニティにも目を向けてもらう取り組みが大切なんだろうと思います。
参加者	これから担っていく人を育てていかなければならない。学生を交えて、少し変えていくようにしたいと思いますのでご協力をお願いします。
市長	2、3年前までは、消防団に農大生が6人いました。消防団に入って活動してくれる学生さんがいる。アプローチをしていくことで、コミュニティに入ってくれる若い人もいると感じています。若い人に目を向けてもらう活動は私たちの仕事と考えています。
参加者	何度か桂陽高校ボランティア部の子どもたちに夏祭りの手伝いや町

	内会の役員に入ってもらうことを意見したのですが、役員自身がどうしてもピンと来ない。若い人とどうやっていくか、そのあたりを市からも情報提供していただければと思います。
市長	ボランティアに参加する子どもたちは社会的関心が高く、ものすごい情熱を持って参加してくれます。地域の問題も社会問題だよという認識がないのかなと思います。どういう取り組みができるか、皆さんと話し合いながら、解決の一助になればと思います。
参加者	市道にある横断歩道は市のものかと思ったのですが、横断歩道は公安委員会と言われました。色が消えている場所がたくさんあります。警察に申し入れしないとダメなのでしょうか。
市民環境部長	警察へ、横断歩道の白線が薄くなった箇所を伝えているのですが、警察も予算があり、年度で決められた数があるようで、なかなか進んでいない状況です。それでも学校の周りは優先的にやってほしいと要望しているのですが、また改めて声を届けていきたいと思います。
参加者	向陽は、お店屋さんが成り立たない地域ですが、やっぱり金融とか郵便局、コンビニは必要で、今、車の免許返納もあり、そのあたりも今後考えていってほしいと思います。
市長	すぐ取り組みますとは言えないのですが、地域の課題として受け止めさせていただきます。